

平成25年度 上ノ国町日本海グリーンベルト構想の活動



平成25年度の上ノ国町日本海グリーンベルト構想の活動は「豊かな海づくりのための植樹祭」として、昨年に引き続き横浜国立大学名誉教授・(財)地球環境戦略研究機関国際生態学センター長 宮脇 昭 氏を招いて、今回の植樹を行いました。苗木については、平成23年11月に、通称「宮脇ポット」を利用したポット苗づくりを実施し、約2年間の養生期間を経たものです。

上ノ国町においては、宮脇 昭 氏が提唱する「その土地本来の自然の力に期待して本物の森の回復を目指す潜在自然植生」の考え方を参考にしながら、住民自らの手により採取した種子、ドングリ（カシワ、ミズナラ等）により森林を復元させる取り組みを行っています。

- ・開催日時：平成25年10月3日（木）9：30～
- ・開催場所：上ノ国町字勝山（上ノ国町中学校グラウンド隣接地）
- ・参加者数：約350名
- ・植栽樹種：カシワ、ミズナラ、トチノキ
- ・植栽本数：約2,000本

○ 植樹会場と看板



○ 開会式



上ノ国町グリーンベルト構想推進協議会会長挨拶

上ノ国町長挨拶



参加者達

○ 植樹説明



宮脇 昭 氏



檜山振興局長と宮脇氏の談話



宮脇氏に説明を受ける子供

○ 植樹開始



植樹の始まり



しっかりと育てね



植樹の終了した箇所から、稲わらでマルチング 宮脇氏と縄で稲わらをpushしている子供



植樹完了しました

